毎年レクイエム 第7回

2006年のモーツァルトイヤーに始まった、モーツァルトの命日にレクイエムを演奏する、「毎年レクイエム」。今年は東京カテドラルです!

作曲後 200 年以上経ってなお、尽きせぬ興味、謎、そして感動を与えてくれる、モーツァルトのレクイエム。これまで色々な版を演奏してきましたが、今回は伝統的なジュスマイヤー版をベースに、グレゴリオ聖歌をふんだんに取り入れた演奏をお届けします。

ご存じのようにこの曲はモーツァルトの絶筆ですが、注文によって作られた実用音楽である面を忘れてはいけません。実際、ヨーゼフ・ハイドンやショパンなど、当時から多くの葬儀で使われてきました。20 世紀でもケネディー大統領やカラヤンの葬儀で演奏され、音資料も残っています。

レクイエムは典礼文に沿って作曲されているのですが、当時の慣習で作曲されない文がいくつかあります。その様な箇所はグレゴリオ聖歌を用いました。今回の演奏ではその部分も再現します。典礼のための音楽という側面に光を当てて演奏します。

第9 一色になる年末を前に、モーツァルトの世界に浸りませんか?

MOZART ACADEMY TOKYO

モーツァルト・アカデミー・トウキョウ　通称MAT～マット、とお呼び下さい。

モーツァルト生誕250年の年にデビューした、古典派音楽を愛し、追究する、プロフェッショナル・オーケストラ&ヴォーカル・アンサンブル。合唱は各地でソリストとして活躍している歌手が精緻なアンサンブルを求めて集結、ソロもメンバーが分担して歌います。オーケストラはオリジナル楽器を使用し、声楽、器楽、双方から作品の本質に迫ります。

●MAT ヴォーカルアンサンブル

Soprani	大塚 恵美子　金成 佳枝　宍倉 朋子　名倉 亜矢子　広瀬 奈緒　本宮 廉子　渡邊 有希子
Alti	小家 一彦　高橋幸恵　北條 加奈　横町 あゆみ
Tenori	坂口 寿一　富本 泰成　真木 喜規　吉田 宏
Bassi	小藤 洋平　淡野 太郎　中川 郁太郎　山形 明朗

●MAT チェンバーオーケストラ（オリジナル楽器使用）

ヴァイオリン	大久保 幸子　大西 律子*(leader)*　小林 瑞葉
	須賀 麻里江　関口 敦子　鍋谷 里香
ヴィオラ	上田 美佐子　春木 英恵
チェロ	十代田 光子　野津 真亮
コントラバス	角谷 朋紀
バセットホルン	山根 孝司　李 胎蓮
ファゴット	鈴木 禎　安本 久男
トランペット	中村 孝志　中村 肇
ティンパニ	鈴木 力
サックバット	武田 美生　生稲 加奈代　生稲 雅威
オルガン	渡部 聡

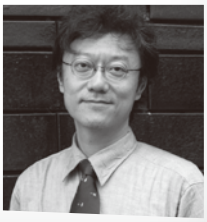
※出演メンバー、プログラムに変更がある場合はご了解下さい。

Photo: 長澤直子

●アンサンブル・ベロム（Ensemble Bel Homme）

石橋 遼太郎　菊地 拓也　栗田 敬太朗　河野 貴大　鷹野 景輔　富永 大樹　広瀬 悠輝　松尾 匠人　山本 一樹　吉田 宏　渡辺 絢星

●音楽監督･指揮　坂本 徹



桐朋学園大学古楽器科卒業。バーゼル・スコラ・カントールム、デン・ハーグ王立音楽院に留学。古典クラリネットをE.ホープリッチ、合唱指揮をH.M.リンデ他の各氏に師事。1993年ブルージュ国際古楽コンクール、アンサンブル部門第1位を受賞(Trio van Beethoven)。ベルギーの「アニマ・エテルナ・オーケストラ」のクラリネット奏者として数多くのプロジェクトに参加した他、ヨーロッパ各地の古楽オーケストラで活躍。合唱指揮者としては2005年にモーツァルト・アカデミー・トウキョウを結成、モーツァルトの教会音楽のスペシャリストとして活動している。近年はアマチュアオーケストラ、合唱団の指導、育成にも力を注ぎ、国分寺チェンバーオーケストラ、東京クラシカル・シンガーズ、メルクール、オーケストラ・オン・ピリオド・トウキョウ、Kollegium XIXの音楽監督／指揮者を務める他、各地の団体の指導にあたっている。